

1)報告年月日：2014年12月22日

2)所属、職名、報告者名：済生会松阪総合病院 研修医二年目 渡邊祐衣

3)表題：日本女性放射線腫瘍医の会 助成事業報告書

4)開催日時、場所：2014年12月11日～13日、パシフィコ横浜

5)報告書：

今回私は、日本女性放射線腫瘍医の会の助成により、2014年12月11日～13日にパシフィコ横浜で行われました、日本放射線腫瘍学会第27回学術大会に参加させて頂くことが出来ました事を下記の如く報告致します。

私自身、現在初期研修医2年目という身分として大学卒業以降1年半程、様々な科での研修をさせて頂きましたが、将来の専門科としてこの放射線腫瘍という分野に興味をもってからはまだ半年程しか経過しておりません。そのような事情もあり、恥ずかしながらまだ放射線治療に関して分からないことも多く、将来の専門科としての選択肢の一つとして少しでも知ることが出来ればと思い、本学会に参加させて頂きたいと考えました。

本学会では、3日間にわたり朝8時頃から、夕方18時頃まで様々な分野の講義・発表を拝見することが出来ました。

その中でも放射線治療に関する基礎知識を学びたいと考え、主に教育講演にて勉強をさせて頂きました。教育講演に関してはスライド抄録集が配布されていたため、講演中は実際の演者の話に集中することが出来、非常に充実した時間を過ごすことが出来ました。また後にそのスライド抄録を見直すことも出来たため、改めて知識を整理する貴重な機会となりました。さらに3日間を通して、放射線生物学といった基礎から、頭頸部癌・乳癌・食道癌・直腸癌・子宮頸癌・前立腺癌といった実臨床に即した各論、そして強度変調放射線治療、粒子線治療といった高精度から先進的治療まで幅広く系統立てて学ぶことが出来、放射線治療に関する知識が深まり、より知りたいと興味を惹かれました。

また、12日の夕刻にはJAWROの総会にも初めて参加させて頂きました。総会では今回と同じ助成事業によって海外の学会に参加をされた方の報告があり、それによって皆様が様々な情報共有をされお互いを高めておられるご様子が特に印象的でした。

今回この助成事業に採択を頂いた事でこのように学ぶ機会を得られた事に関する感謝の気持ちを忘れず、本学会への参加によってより興味を惹かれた本領域に関しまして、今後より一層勉学に励み、精進していきたいと考えております。今回、このような格別のご配慮を賜りましたこと、誠に有難く存じますとともに、この場をかりまして、JAWROの関係各位の皆様には厚く御礼申し上げます。